

1. 調査の目的

- 医療の効率化の指標の一つとして在院日数が利用されるが、DPC 包括評価の実施に伴いこの短縮がはかられている中で、医療サービスが低下していないかどうかを再入院の率やその理由を指標として検証する。

2. 班構成

- ◎安川 林良 委員
- 西岡 清 委員
- 原 正道 委員
- 柿田 章 委員

- ・協力いただきたい先生：小山信彌先生

東邦大学井医学部附属大森病院長

全国医学部長病院長会議「DPC」評価委員会委員長

3. 調査方法

- 再入院の定義については、「退院後 6 週間以内の入院」とする。平成 15 年実施の再入院状況調査による結果との整合を図るため、それに準じて実施する。

○ 調査方法

- A) 調査期間中に収集した退院患者データによる調査。

- ・ データ識別 ID の重複があれば再入院と判断する。
- ・ ICD-10 一致の場合は同一疾患、不一致の場合は異なる疾患と判断して両者の再入院率を調査する。
- ・ 再入院理由は、下記の 2 つに分けて整理する。

	前回入院目的	再入院目的
計画的再入院	検査・診断入院	その他 短期入院繰り返し
	上記以外	上記以外

- B) 上記A) で再入院ありと判断された患者について昨年特定機能病院で行われた「再入院調査票 (別紙)」により再入院の理由を調査を行う。なお、その際、調査期間としては 1 月程度を確保する。

4. 今後のスケジュール

- ・ 8 月 調査票の検討
- ・ 11 月 ～ 調査実施 (7 月から 10 月までの退院患者に係る調査のデータがある程度整理されてから再入院患者を特定することとなるため。) 調査期間は 1 月程度を確保する。
- ・ 12 月 データ整理
- ・ 1 月 調査結果の報告

「再入院調査表」

- ・ DPC 実施医療機関名：
- ・ 患者 ID： 生年月日
- ・ 診断群分類（退院時）： ICD-10：
入院日：
退院日： 退院時転帰：治癒,軽快,不変,増悪,死亡
- ・ 診断群分類(再入院時)： ICD-10：
再入院日：
再入院医療機関： 自院、他院
- ・ 再入院の理由
 - 計画的再入院
 - ① 検査入院 ⇒ 手術入院
 - ② 計画的手術・処置の繰り返し
 - ③ 手術のための体調回復を待つ
 - ④ 検査・手術中止のため
 - ⑤ 化学療法・放射線療法のため
 - ⑥ 定期検査のため
 - ⑦ 患者の QOL 向上のため
 - ⑧ 患者の都合による
 - ⑨ 医療機関連携による
 - ⑩ その他（ ）
 - 予期せぬ再入院
 - ① 疾病の再発・悪化のため
 - ② 合併症発症のため
 - ③ 術後の予期せぬ合併症の発症のため
 - ④ 他疾患発症のため
 - ⑤ その他（ ）